

私たち、ただいま映画 制作中

越谷「りんごの木」10代～20代

ホラーやSFものまで

フリースクール 15人の若者たち

子供や若者だけで映画を作りたい……。そんな夢とロマンを追いかけて、越谷市千間台西のフリースクール「りんごの木」に通う十代から二十代の十五人が今年三月の発表に向けて、いま制作の真っ最中だ。同スクールを運営するNPO法人「越谷らるる」の「ヤング・シネマ・プロジェクト」事業で独立行政法人・福祉医療機構の助成事業でもある。参加しているのは、さまざまな理由で学校へ通えなくなった若者たち。みんな目を輝かせて、映画作りに熱中している。

3月11日、発表

このプロジェクトは、撮影・脚本・演技などのワークショップを通じて映画制作について学んだり、スポーツ交流をしたりしながら、映画を作っていくという企画。昨年六月からスタートした。第一期ワークショップとして、六月に実際にカメラなどの機材を手にとり、遊び感覚で基礎を学んだ。

八月には「ショートフィルムズ・フェスティバル」で、自主制作映画からメジャー映画までを上映し、映画を学んだ。九月には第二期ワークショップとして、映像の編集や特殊撮影、アニメなどの技術を編集室やスタジオなどで学習した。十一月には伊奈町の県民活動総合センターで一泊二日のワークキャンプを実施。実際に短編を制作した。



出演者同士の楽しい会話も



「ハイ、始まるよ」



「あそこは、こうしなくちゃ」と真剣な話し合い



「ウーム、ここはどうしよう」

映画制作をスタートさせたのは同月。十五人が四グループに分かれての制作。内容はスター・ウォーズを模したSFものと、ホラー、アニメーションなどで、撮影に週二日を使う。川口市のスキップシティでカメラなどデジタル機材を借りた。

映画制作グループ代表の鎌倉賢哉さんは「みんな映画制作は初めて。映画はみんな協力しないと完成できない。大人の常識にとらわれないような自由な発想の映画ができればいいな」と話していた。

昨年十一月のワークキャンプでは、オリジナルキャラクター「りんごマン」を誕生させた。今回もオリジナルキャラクターのアニメーションが完成しそうだ。

参加者は「俳優とカメラマン兼務など、楽しい経験ができて面白い。ぜひ感動する映画をつくりたい」と口をそろえた。映画の発表は三月十一日の予定。

越谷らるる

フリースクール運営
カウンセリングも

昭和六十六年、市民有志が不登校の児童・生徒の学習支援活動を開始したのをきっかけに、平成二年「フリースペース・りんごの木」活動を開始。平成四年に任意団体の「地域の教育を考える住民の会・越谷らるる」を設立した。主に学校教育に関する講演会などの開催、通信の発行、子供の成長や教育問題に悩む人のための相談、話し合いなどの活動を始めた。

平成十三年、特定非営利活動法人に移行した越谷らるるが母体になって「フリースクール・りんごの木」を市内千間台西にオープンさせた。同スクールは、不登校の子供、学校を中退した若者などのため「学校」で、スクールの生の自主運営と参加による、ユニークな交流と自由な学びの場になっている。

ひきこもりなどの社会と教育に関する講演会などの開催、通信の発行、子供の成長や教育問題に悩む人のための相談、話し合いなどの活動を始めた。

問い合わせは越谷らるる ☎070・888111

キーボードを弾く若者(越谷市千間台西のフリースクール「りんごの木」で)

